

デジタルメディア



横浜市情報・視聴覚研究部会 夏季研修会

7月25～29日の3課間で夏季研修会が行われました。株式会社キャリアリンクのご協力のもと Intel Teach Elements プロジェクト型学習における評価視点の研修、研究会役員による動画編集の留意点とそのやり方の研修、日本マイクロソフト株式会社のご協力のもと、タブレット PC を使った21世紀の教室体験会（デジタルコンテンツを駆使した模擬授業）の研修を行いました。

A コース

ICT を活用した評価視点獲得研修

「変化の激しい21世紀の知識基盤社会で活躍するグローバルな人材には、問題解決力・批判的思考力・コラボレーション力・ICT活用能力などの21世紀型スキルの習得と応用が求められている」という考え方をもとに、プロジェクト型学習における授業設計（テーマ・実社会とのつながり）・評価の方略（目的・手法・ツール）・授業運営の方略（学習支援者としての教師の役割）を学びました。その上で、評価の方法としてルーブリック評価をどのように行っていくのかを参加者一人ひとりが考え、全員でシェアしました。そこで、ルーブリック評価の有効性と限界も見えてきました。最後には、インターネットを使った Intel Teach Elements の紹介がありました。

B コース

手近な機材で教材（番組）づくり

本研究部会員の諏訪先生（瀬谷さくら小）・北條先生（深谷台小）を講師に、身近にあるコンパクトデジタルカメラを使った動画編集について学びました。午前中は、コンデジの特徴や動画撮影時の心得を確認した後、参加者一人ひとりがカメラを持って港の見える丘公園周辺で撮影を行いました。午後は Windows Movie Maker を使って、実際に2～3分の動画に編集しました。ムービーメーカーを使用するにあたってのファイル変換から、テロップやBGMの挿入までを教えてくださいました。最後には、参加者が作った動画を全員で視聴しました。何を目的に動画を作成するのか、そのために必要な素材が撮影できているかなど、基本的なことをたくさん学ぶことができました。

C コース

「21世紀の教室」体験会

日本マイクロソフト株式会社品川オフィスにて行われました。参加者は児童役になり、タブレット PC (Windows8) を使って、実際に行うかのような形で授業を行うかを体験することができました。教室支援システムや電子黒板、デジタル教科書を使って、どのような授業を展開することができるのか、今までに困難だったことや手間がかかっていたことを簡単にできることを実感しました。一方で、そのために必要な環境整備を市全体でやらなければならない必要性も実感しました。また、配慮が必要な子どもの学習活動において、テクノロジーを活用することで可能になることの事例紹介もいくつかありました。21世紀型スキルを育成していくための ICT の役割の大きさを改めて知る研修会でした。